

プリンセス物語と性別役割

— 近世と現代のシンデレラ物語を中心に —

谷口 秀子

性別役割とは、人が社会的・文化的に遵守することを期待される男女別々のステレオタイプ的な行動規範である。すなわち、ジェンダー化された社会においては、人は、自らの性別にもとづいて、「女らしく」あるいは「男らしく」行動し、振る舞い、装い、話すことなどを期待される。

本発表では、ディズニー作品などを通して日本を含め世界中で人気があり、そのため、多大な影響力を持つシャルル・ペローのおとぎ話『シンデレラ』(1697)を中心に、西洋の伝統的なおとぎ話にあらわれる女性表象と性別役割について、歴史的・社会的背景も含めて論じた。

加えて、本発表では、第二波フェミニズム以降、フェミニズム的な視点で語り直されたフェミニズム童話と称される伝統的なおとぎ話の語り直し作品(『アーリーテ姫の冒険』(1983)、『シンデレ王子の物語』(1987)など)、および『シンデレラ』の語り直し作品である『エバー・アフター』(1998)、ディズニーアニメ『シンデレラ II』(2002)、『シンデレラ III』(2007)、ディズニーの実写映画『シンデレラ』(2015)などを例に、そこに見られるジェンダー転覆の試み、そして女性表象と性別役割の変化を、社会的な背景と第二波フェミニズムおよびポストフェミニズムとの関連を含めて論じた。そして、現代の『シンデレラ』作品においては、女性のエンパワーメントが描かれ、「女らしさ」の要素や女性の性別役割が以前とは変化しているのに加えて、近年では、ジェンダーにとらわれない強い女性像を描く作品においても、いわゆる「女らしいもの」や「かわいいもの」やロマンティックな恋愛への指向性が共存するという、ポストフェミニズム的な傾向が見られることについて論じた。

[参考文献]

- 高橋幸 (2020) 『フェミニズムはもういない、と彼女は言うけれど——ポストフェミニズムと「女らしさ」のゆくえ』、晃洋書房。
- 谷口秀子 (2017) 「おとぎ話とフェミニズム童話」、大野寿子 (編) 『グリム童話と表象文化——モチーフ・ジェンダー・ステレオタイプ——』、勉誠出版。
- (2004) 『ジェンダーを越えるヒロインたち——子どもの本における多様な女性像の提示を目指して——』九州大学大学院言語文化研究院言文叢書。
- ペロー、シャルル (2016) 『眠れる森の美女——シャルル・ペロー童話集』 (村松潔・訳)、新潮社。
- Cinderella* (1950) Directed by Wilfred Jackson, Hamilton Luske, and Clyde Geronimi, Screenplay by William Peet, Ted Sears, Homer Brightman, Kenneth Anderson, Erdman Penner, Winston Hibler, Harry Reeves, and Joe Rinaldi. (邦題: 『シンデレラ』)
- Cinderella* (2015) Directed by Kenneth Branagh, Screenplay by Chris Weitz, Walt Disney Pictures. (邦題: 『シンデレラ』)
- Cinderella II: Dreams Come True* (2002) Directed by John Kafka, Screenplay by Jill E. Blotvogel, Tom Rogers, and Julie Selbo, Walt Disney Pictures. (邦題: 『シンデレラ II』)
- Cinderella III: A Twist in Time* (2007) Directed by Frank Nissen, Screenplay by Dan Berendsen, Margaret Heidenry, Colleen Ventimilia, and Eddie Guerlain, Walt Disney Pictures. (邦題: 『シンデレラ III』)
- Cole, Babette (1997) *Prince Cinders*, Putnam & Grosset, 1997. (邦題: 『シンデレ王子の物語』)
- Coles, Diana (1983) *The Clever Princess* (Ros Asquith, illust.). Sheba Feminist Publishers. (邦題: 『アリーテ姫の冒険』)
- Dowling, Colette (1981) *The Cinderella Complex: Women's Hidden Fear of Independence*, Summit Books. (邦題: 『シンデレラ・コンプレックス』)
- Ever After* (1998) Directed by Andy Tennant, Screenplay by Andy Tennant, Susannah Grant and Rick Parks. (邦題: 『エバー・アフター』)
- Zipes, Jack (2006) *Fairy Tales and the Art of Subversion: The Classical Genre for Children and the Process of Civilization* (2nd edition). New York: Routledge.

* 本発表は、JSPS 科研費 (20K00416) の助成を受けた研究の成果の一部です。

(たにぐち ひでこ・九州大学名誉教授)